



事業者向け

DXマーク認証制度 概要資料

©一般社団法人中小企業個人情報セキュリティ推進協会



一般社団法人
中小企業個人情報セキュリティ
推進協会

2022年10月現在

1	「中小企業個人情報セキュリティ推進協会」概要
2-1	「DXマーク認証制度」概要
2-2	「DXマーク認証制度」概要：制度の特徴
3	DXマーク認証の評価項目内容について
4	認証のランクについて
5-1	認証取得までの基本的な流れ
5-2	申請書類・テストについての説明
6	運営体制と支援制度
7	申請・手続き関係
8	補足資料

1 「中小企業個人情報セキュリティ推進協会」 概要

■ 概要

名称：一般社団法人中小企業個人情報セキュリティ推進協会（略称：SP2）

設立年月日：平成28年9月15日 所在地：東京都新宿区市谷田町1-19-2 ECS第19ビル5F

事務局電話番号：03-4405-5180 事務局メールアドレス：info@sp2.or.jp 代表理事：田中勇一

■ 活動内容

当法人は、業務システム、情報システムのマネジメント技術を用いて、安全安心かつ継続的な個人情報保護の構築支援することを目的とし、その目的達成のため次の事業を行っています。

1. 個人情報保護に係わる各種情報収集、情報処理、情報提供、コンサルティングおよびマーケティング
2. 人材育成のための職員教育
3. 認定制度、資格検定制度等の企画、開催、運営
4. 事業者の職員に必要とされる技能（スキル）要件、知識・経験のレベル定義とその標準化の推進、ならびにその普及啓発活動
5. 雑誌・書籍の企画、出版、販売、およびeラーニング商品（音声データ、動画データ、その他各種メディア等）の企画、製造、販売
6. 各種物品の企画、販売、輸出入およびこれらの仲介業
7. 著作権、著作隣接権、産業財産権その他の無体財産権およびノウハウの取得、利用、管理、譲渡、使用許諾およびこれらの仲介業
8. 展覧会・イベント等の企画・運営事業
9. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

中小企業のDX推進のための市場調査とレポートを随時リリースしています。

事例. 大手企業の8割超が自社で「DXに取り組んでいる」と回答。7割以上が、DXへの取組を全く行わない企業との取引を「躊躇」の事実～約9割の大手企業が「中小企業もDXを進めるべき」と回答（2021年10月11日）



当協会は認定個人情報保護団体です。個人情報保護法では、事業者の個人情報保護に対する指導、啓発活動を行うために、認定個人情報保護団体（以下「認定団体」という。）の制度を設けており、当団体は個人情報保護委員会から認定された団体です。認定個人情報保護団体は、事業者に対し、業界の特性に応じた個人情報の適切な取扱いを促し、業界全体における個人情報の保護の水準を高める役割を担っています。

2-1 「DXマーク認証制度」 概要

- 概要** 「DXマーク認証制度」とは、国が策定した情報処理促進法及び個人情報保護法、不正競争防止法に則り中小企業のDX化を推し進めるべく、必要な対応項目を網羅し、認証する制度です。

一般社団法人中小企業個人情報セキュリティ推進協会では、個人情報の適切な取り扱いと健全な組織運営に必要な評価項目に加えSociety 5.0や第4次産業革命が目指す社会への変化に対応するため、事業者の改革に必要とされるデジタル化推進において、備えなくてはならない組織・体制づくりを項目別に定め、選ばれる事業者になるための必要項目をとりまとめて評価する「DXマーク認証制度」を提供しています。
- 目的** DX化への取組みは、技術的な改革や新規事業創出等のみに注目されがちですが、その推進過程におけるデジタル化の作業において、自社が保持する各種情報の整理と分析をもとに、適切に保持・管理・運営する体制を構築することと並行して事業を進めることが必要であり、個人情報保護法をはじめとして、関連する様々な法令を適用・遵守しながらDX化の推進を図るための適切な羅針盤として、中小企業の組織・経営強化およびDX化への取組推進に寄与することを目的としております。
- 申請対象** 全ての事業者が対象となります。（法人と個人事業者、法人は会社だけではなく、公益法人等の法人格も含む）
- 取得メリット**
 1. 情報処理促進法及び個人情報保護法、不正競争防止法に則り、DX化を推し進めている企業として証明されることで、社会から評価されます。
 2. 取得事業者の「DX化宣言書」「個人情報保護方針」が当協会ホームページ内に掲載されることで、社会的な信用を享受すると共に、SEOおよび各種検索に有効となります。
 3. DXマーク認証取得事業者として、当協会ホームページ内の検索画面から事業者情報を公開いたします。
 4. DXマーク認証事業者として、自社のホームページや名刺、販促物などにロゴを使用することが可能です。
 5. 個人情報保護法に準拠するための社員教育教材（e-learning）をご利用いただけます。
 6. 個人情報の取扱いに関する対応や苦情および漏洩時の対応などについて、アドバイスを受けられます。

2-2 「DXマーク認証制度」 概要：制度の特徴

■ 制度の特徴

1. 事業規模や事業内容にとらわれることなく、適切なステップでDX化を推進するために必要な項目を定め、評価を受けられる制度です。
2. DX化に向けて必要な要素として、4つの大分類(DX推進体制、デジタル化、DX人材、ビジネスモデル)を定め、推進度合に応じて3段階の認証ランクを設定しています。
3. 本制度への取り組みによって、認証事業者が現状の把握と社外に対する共通の評価と信頼を得るとともに、将来のDX化へのロードマップを描くための礎になります。DXマーク認証事業者として、自社のホームページや名刺、販促物などにロゴを使用することが可能です。
4. 本制度の認証期間は1年間となります。また、DX化の社会変化に適切に対応するため、1年ごとに更新手続が必要となります。更新の際には、評価検討委員会にて評価項目の適格性を審査いたします。
5. 申請事業者のDXマーク取得を適切に支援するため、希望事業者には、当協会が認定した「DXアドバイザー」を紹介する制度を設けています。

- 当協会の認証盾を発行
- 認証番号付きDXマークロゴの使用
- 当協会ホームページ内におけるDX宣言書・個人情報保護方針等の公開
- 個人情報保護法に準拠するための社員教育教材（e-learning）
- 個人情報の取扱いに関する対応や苦情および漏洩時の対応アドバイス



3 DXマーク認証の評価項目内容について

「DXマーク認証制度」

中小企業のDX化における推進状況を評価できる内容。事業者がDX化に取り組む姿勢の明確化と個人情報保護法を中心とする関係法令の遵守を目的とした体制づくりと推進・運営、デジタル化に向けた内容を網羅しています。

✓ 4つの大項目からそれぞれ中項目、小項目までを設定

01 DX推進体制

経営者・会社によるビジョンとコミットメント及び適切な情報管理

中項目

小項目

02 DX人材

DX化の推進を進めるために必要な人材を育成・確保すると共に、人材育成にむけた知識習得への取り組み

中項目

小項目

03 ビジネスモデル

DX化社会における、環境変化をとらえ、デジタル化を戦略的に取り入れ改革を起こすと共に、新たな価値を創造する取り組み

中項目

小項目

04 デジタル化 デジタル技術の活用

デジタル技術の利活用による改革への取り組みを推進すると共に、デジタル化による各種データをもとに新たな付加価値を提供できるインフラ環境を整備

中項目

小項目

4 認証のランクについて

3段階の認証ランクを設定

DX化推進に必要な体制を整えるための取組みから、DX化後の事業展開までを、各事業ステージに応じて評価し、推進度合に応じて3段階の認証ランクを定めています。

BRONZE

2021年4月開始

- DX宣言・推進計画があり、各種情報資産の把握と管理方法が定められ、個人情報保護規程ほかの法令を適切に順守・運営すべく活動している企業。
- DX推進の方針・ビジョン・計画があり経営者が自覚を持って、DX推進体制づくりやデジタル技術の活用に着手ができている状態。

SILVER

現在準備中

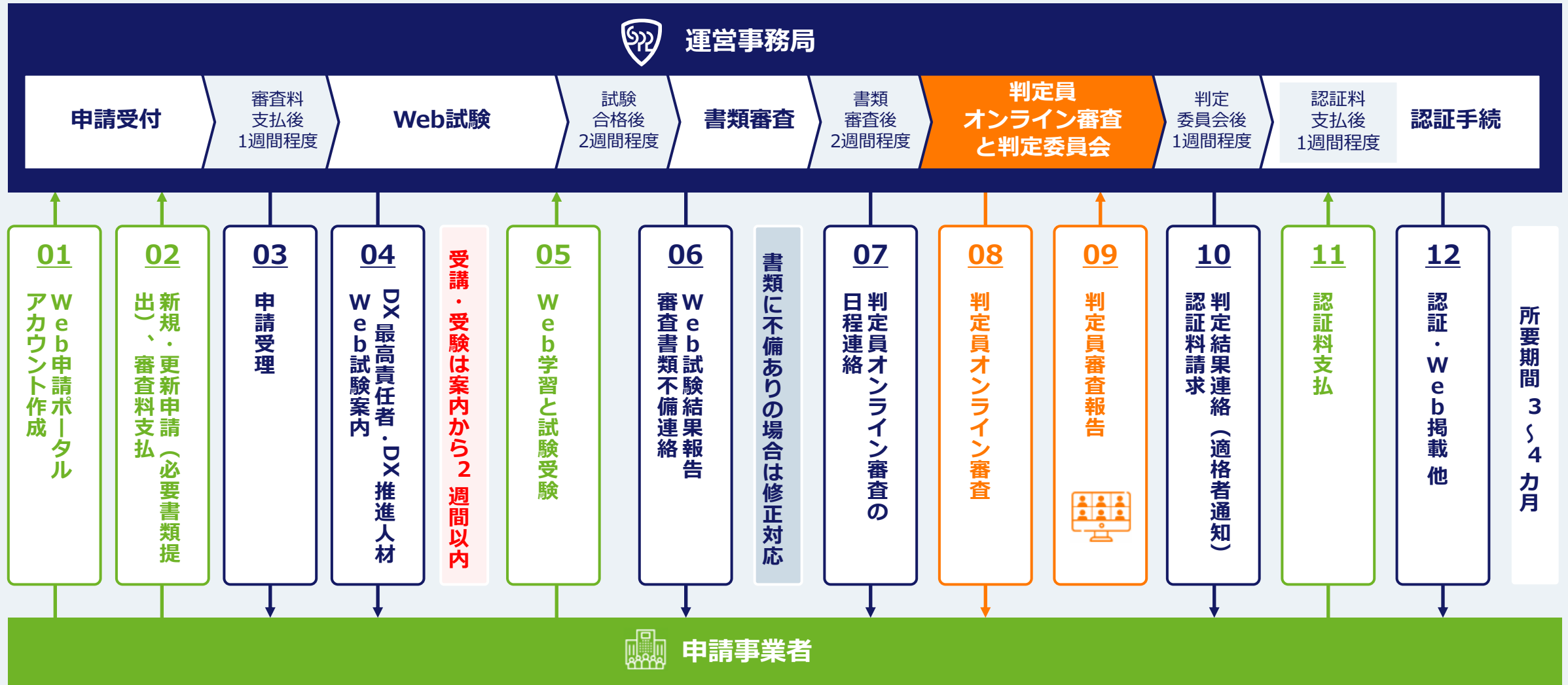
- ブロonzの基本事項に加え、自社の状況やDX推進にかかる取組推進状況が可視化されている企業
- DX化の進捗確認ができる状態にあり、ビジネスモデル改革に向けた計画や自社状況の可視化が進んでおり、デジタル技術の改善ポイントが整理できている状態。
- DX人材については外部委託に頼らず社内人材の育成と確保に着手している状態。

GOLD

現在準備中

- DX化によるビジネスモデル改革を体現している企業。
- DX化による効果が可視化できており、ビジネスモデルの改革によって目指した優位性を実現できている企業。
- デジタル技術の改善実施も進んでおり、DX人材も社内のリソースとして十分確保できている企業。

5-1 認証取得までの基本的な流れ



※1 申請受付日から認証までの猶予期間は1年間となります。（1年経過後も認証できない場合は再申請の必要があります。）

※2 DX最高責任者試験、及びDX推進人材試験はご案内するWEB試験上にて2週間以内に合格していただく必要があります。

※3 判定員審査の日程調整にはお時間がかかる場合があります。 ※4 判定委員会は毎月、中旬と下旬の2回実施しております。

5-2 申請書類・テストについての説明

02 新規・更新書類（必要書類提出）、審査料支払

✓ 申請時には以下の書類を作成、ご提出いただきます

01 DX宣言書

02 DX化推進計画

03 DX化推進規程

04 個人情報保護規定

05 個人情報保護
チェックシート

06 情報セキュリティ
基本方針

07 情報セキュリティ規
程

08 スキル評価表

09 情報資産台帳

10 IT環境
チェックシート

11 DX化推進
チェックシート

05 WEB学習と試験受験

✓ WEB試験は2種類で事務局の通知より2週間以内に受験が必要です

01 DX最高責任者試験
全30問で70%以上の正解が必要ですが、合格するまで3回を上限に受験可能です。

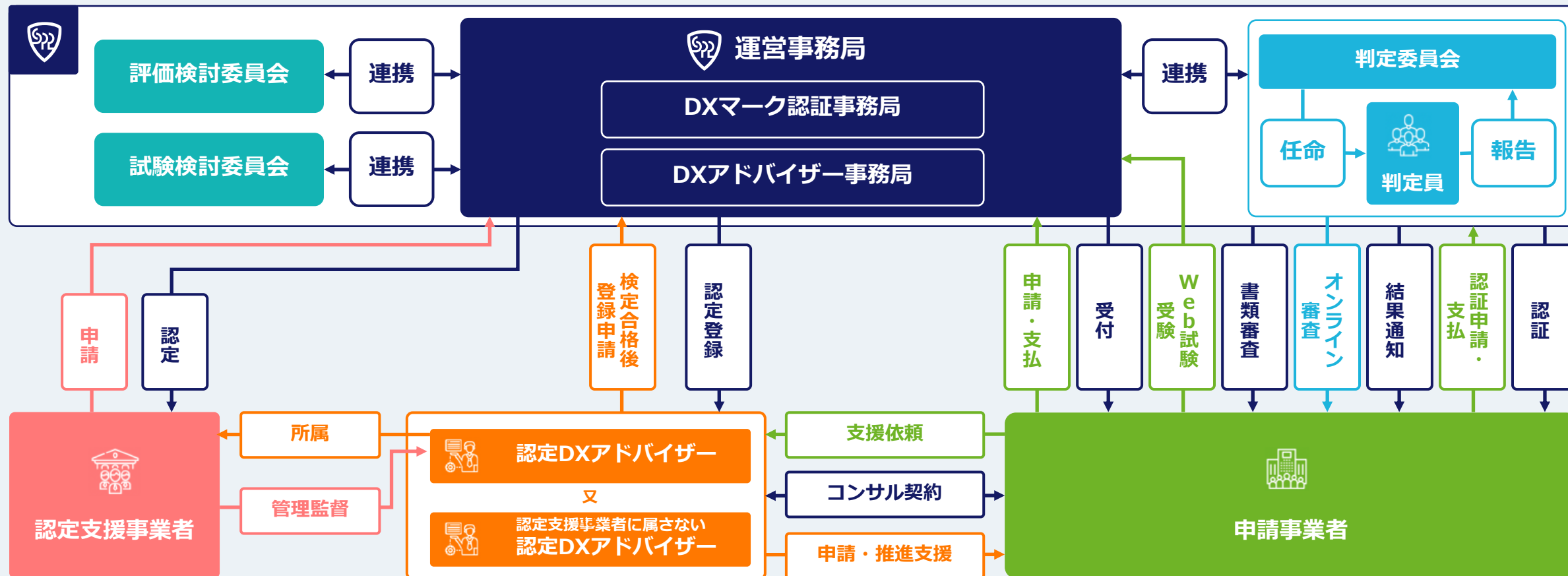
02 DX推進担当者試験
受験は1回で60分間・全60問中80%以上の正解が必要です。

- DXマーク認証申請のサポートとして、DXアドバイザーとの契約がある場合は、DX推進担当はDXアドバイザーが担いますので、申請事業者による上記②は免除されます。
- また、申請事業者の社内に、当協会が実施する「DXアドバイザー検定」に合格し、認定申請の後、認定DXアドバイザーとなった方が、DX推進担当として登録される場合も②は免除されます。

• 各申請書類には作成ガイドラインについての説明が付記されています。

6 運営体制と支援制度（認証支援事業者とDXアドバイザー紹介）

✓ 運営体制と関連図



- ・ DXマーク認証制度の社会的責任と意義を理解し、DXマーク認証制度の普及促進活動と自団体の従事者をDXアドバイザーとして推進計画にそって活動させ、適切に管理運営できる体制を構築している事業者を当協会が申請に基づき認証支援事業者として認定しています
- ・ 制度概要の説明にもありますように、DXマーク認証申請事業者が申請及び取得における人的支援を希望される場合、当協会の試験に合格し認定を受けた「DXアドバイザー」をご紹介することが可能でございます。（地域や支援内容によりご希望に添えない場合もございます）

7 申請・手続き関係

✓ DXマーク認証および翌年以降の更新にかかる費用

		中小規模事業者（従業員100人以下）	大規模事業者（従業員101人以上）
BRONZE	申請料（新規・更新）	¥55,000	¥88,000
	認証料（新規・更新）	¥132,000	¥330,000
SILVER	申請料（新規・更新）	¥110,000	¥165,000
	認証料（新規・更新）	¥330,000	¥550,000
GOLD	申請料（新規・更新）	¥165,000	¥220,000
	認証料（新規・更新）	¥770,000	¥1,110,000

	申請料	認証料
新規	認証申請時にお支払いいただきます。	各審査を通過後、認証判定委員会にて「適格」となった場合にお支払いいただきます。 1年間の認証対象期間を含みます。
更新	認証期間（1年間）を次年度に更新される際、更新申請時にお支払いいただきます。	各審査を通過後、認証判定委員会にて「適格」となった場合にお支払いいただきます。 更新認証については、前年度の取組進捗や実施状況を審査・判定いたします。更新手続きについては、運営事務局より期限3ヶ月前を目途に更新手続きの案内をご担当者様にさせていただきます。認証有効期限が切れる前に更新をご申請いただくことが必要です。

※1 従業員数には、正社員のほか、契約社員・パート社員・アルバイトなど事業に従事する方すべてを含みます ※2 業務上、個人情報を扱わない従業員を除けば100名以下となる場合は申請区分についてご相談ください。（従業員が101人以上でも中小規模事業者として申請いただくことが可能な場合がございます） ※3 支払方法は、銀行振込もしくはクレジットカードがご利用できます。（利用可能カード会社：Visa・MasterCard・American Express・JCB・Diners Club・Discover）

※4 お振込み手数料は、申請事業者様のご負担でお願いいたします。

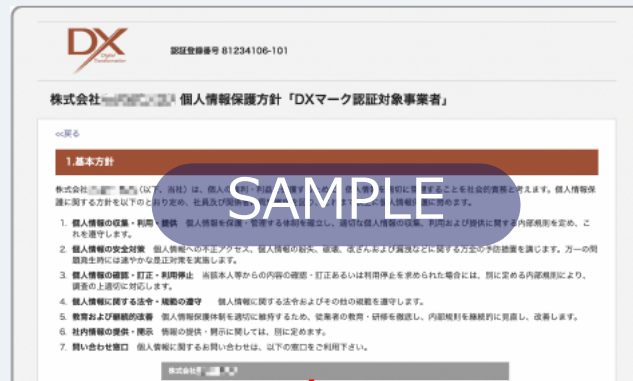
8 補足資料

✓ DXマーク認証を取得すると、当協会のHPに「DXマーク認証付与事業社」として以下の情報を任意で掲載が可能になります

・DX宣言書



・個人情報保護方針



・自社紹介

